

2020年10月9日

住友生命保険相互会社

## 米州投資公社が発行するコロナ債への投資について ～COVID-19への対応を含む持続可能な開発ミッションへの支援～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、米州開発銀行（IDB）グループ傘下の米州投資公社（IDB Invest）が発行する新型コロナウイルスへの対応を目的とした債券（通称コロナ債、以下「本債券」）に約105億円の投資を行いました。

米州投資公社は、ラテンアメリカとカリブ海諸国における民間セクターへの支援を通じて、同地域の経済発展に取り組む国際機関であり、同地域の経済・社会・環境面での発展を実現するために、持続可能な企業やプロジェクトに資金提供を行っています。米州投資公社は131億米ドルに及ぶ運用資産を有し、26か国における385の様々な業種の顧客企業に対して、革新的な金融ソリューションとアドバイザリーサービスを提供しています。



©IDB

今般、住友生命が投資した本債券は、新型コロナウイルス対策を目的として米州投資公社が発行するものです。

米州投資公社は、新型コロナウイルスの影響に対応するために最大70億米ドルの資金を提供することを予定しており、当該金額には、50億米ドルの長期投資、20億米ドルの貿易金融が含まれます。米州投資公社は、新型コロナウイルスの影響を受けた企業のうち保健セクターおよび保健関連セクターに資金提供を行うとともに、金融機関、サプライチェーン・ファイナンス、貿易金融を通じて、中小企業への資金繰り等の支援を行う予定です。なお、本債券は住友生命のみを対象とする、新型コロナウイルス対策を目的とした私募債形式での初めての発行になります。

住友生命は、米州投資公社の持続可能な開発ミッションへの支援を通じて、新型コロナウイルス対策に貢献することや、SDGsの達成に貢献することを期待して、本債券への投資を行っています。

<投資概要>

発行体：Inter-American Investment Corporation（米州投資公社）

（S&P 格付：AA、Moody's 格付：Aa1、Fitch：AAA）

金額：1.4 億豪ドル（約 105 億円）

年限：15 年

住友生命は、「社会になくてはならない保険会社」の実現を目指し、事業活動を通じた持続可能な開発目標「SDGs」の達成に向けた取組みを進めています。また、ESG 投融資をその主要な取組みの 1 つとして位置づけ、持続可能な社会の実現、および、中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、ESG 投融資に取り組んでおり、今般の投資はその一環として行うものです。

<「スミセイ中期経営計画 2022」全体像>



今後も、ESG 投融資を通じて持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでいきます。

以上